



少しずつ暑さも和らぎ、過ごしやすくなってきました。ゆったりと園庭あそびをし、秋の気配を感じながら、元気いっぱい遊んで欲しいと思います。



楽しみにしていたプール遊び。水に抵抗がない子がほとんどで、毎回ダイナミックに遊んでいます。顔を水につけるだけでなく、潜る・泳ぐ、ということにも興味を持ち、挑戦する姿がありました。

得意な子はどんどん水に親しみ、その姿に刺激され、水が苦手だった子も顔をつけたりしていました。こちらが強要しなくても、友達同士で刺激し合っていて、お互いにとてもよい関わりが出来ているなと感じています。

また、プールの中でおもちゃ遊びを楽しむだけでなく、子どもたちの方から、何か浮き輪に代わる浮かんで遊べるものはないか、作れないかという提案のもと、子ども主体でボート作りにも挑戦しました。ノートでも様子はお伝えしましたが、自発的に考え、試し、失敗もしながらも目標に近付こうとする姿は、とても生き生きしていて、見ているのも楽しいものでした。すごく思い出に残る活動になったのではないのでしょうか。それが、大人から与えられた活動ではなく、自発的に進めていった活動だからこそ意味があり、また意義のあるものになります。こういう姿は年長児ならではのですね。みんなの試行錯誤する姿は、きっとこれからの学習にもつながっていくと思います。チームワークも培えた、いい活動でした。



・水を思いっきりかけたい！！

ある日のプールの一コマです。私がバケツに水を入れて、勢いよくみんなにかけていました。『やってみよう！』と、バケツを持ったA君。水を入れ、かけようとするのですが、重たくて思うように水を勢いよくかけられません。A君は諦めてしまいました。

Bちゃんは、バケツが空いたのを見て手に取り、同じように水を入れました。やっぱり重たくて持ち上がりません。『無理や…』と言って、水の量を減らしました。持ち上がり、水をかけることが出来ましたが、勢いがなく、納得していない様子。今度は更に水の量を減らしました。軽いので、勢いよく水をかけることが出来ました。

次からは同じくらいの水を入れ、勢いよく友達にかけて遊んでいました。



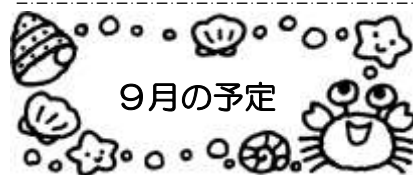
このエピソードから、遊びの中で体感的に『理科・物理』を学んでいることがわかります。改めて調べてみると、高校の物理で習う『運動量と力積』の範囲でした。すごいですね！！高校ではそれを数式として習うのですが、こういう実体験が未来の学習につながっていきます。無理に学習の機会を設けなくても、体感的に子どもは学んでいくんですね。子どもの力はすごいなあと改めて感じました。



おはしの持ち方

おはしの持ち方…もう一度見直してみませんか？  
上手に持てている子が少ないように感じます。

日々の積み重ねが大切です。少し気にかけてみるだけで、ずいぶん違ってきますよ！！



- 1日(木) 消火訓練
- 12日(月) 体操教室
- 16日(金) 博愛苑にて敬老会
- 25日(日) 大浦会館にて敬老会(4、5歳児) ※詳細は別紙でお知らせ致します。
- 26日(月) 体操教室
- 27日(火) 祖父母参観
- 30日(金) お誕生会